

※並び順は左から現職、新人(50音順)			
氏名(年齢)	林 文子 (67)	柴田 豊勝 (66)	矢野 未来歩 (30)
現新別	現	新	新
政党名	無所属	無所属	無所属

Q1・この4年間の林市政であなたが評価できる施策を1つあげ、その理由を教えてください。	待機児童対策。 (理由) 女性の社会進出支援は長年働き続けてきた私の使命であり、このため「待機児童対策」の問題を最優先課題として取り組んだ。市長直轄プロジェクトを立ち上げ、ハード・ソフト両面からあらゆる取り組みを行った結果、待機児童ゼロを成し遂げることができた。保護者のニーズを把握し、保育所の整備はもちろんのこと、多様なサービスを用意し、「保育コンシェルジュ」が丁寧に保育サービスの情報を提供した。ご企業、大学、幼稚園、社会福祉法人など、皆様のお力を結集したからこそ成し遂げられた。	市立学校へのエアコン設置。 (理由) 子どもにとって学びやすい環境整備となったから。	保育コンシェルジュ。 (理由) 個別案件をしっかりとサポートしているところ。
---	--	--	--

Q2・この4年間の林市政であなたが評価できない(または課題と思われる)施策1つあげ、その理由を教えてください。	特になし。	中学校給食が未実施であること。 (理由) 学校における食育の必要性、重要性。他都市でできて、横浜市にできない理由がない。	待機児童対策。 (理由) 育児経験が少なくれば少子化は加速する。さらに、それぞれの世代に目を向けてみると、子どもたちは親と離れて嬉しいだろうか？ 親は働きに出ていて労働負担は上がっている。では、孫を持つ60代の世代ではどうだろうか？ 孫育児に積極参加してもらえないのだろうか？ 孫育児に参加する祖父母を両極化させる一つの要因だったと考える。
---	-------	--	--

Q3・今年3月に、北仲通南地区を整備予定地と位置付ける『新市庁舎整備基本構想』が策定されました。あなたはこの基本構想に対し、賛成ですか、反対ですか？	賛成	反対	反対
	市民や議会の意見を聴き、今年3月に「新市庁舎整備基本構想」を取りまとめた。現庁舎の最大の課題である市役所機能の分散化の解消、収支シミュレーションの結果など、総合的に考慮し、北仲通南地区での整備案が最適と考える。新市庁舎の整備、維持管理費は現行の民間ビル賃貸料の範囲内でまかなえる。新市庁舎の移転は、関内・関外地区、さらには横浜の新たな発展につなげていく絶好の機会。これまでの業務・商業機能に加えて、関内駅前の立地特性を活かし、大学、文化・芸術・スポーツなどの新たな機能の導入を図り、関内・関外地区全体の活性化やブランド力の向上につなげていく。	603億円をかける必要がない。土地購入の契約を白紙に戻すべき。現庁舎、周辺市有地の再整備など、いろいろな選択肢がある。市民的な議論をやるべき。	人口減少が予想されているのに拡張するのは矛盾している。あわせて、災害時は停電するので、高層ビルは機能を活かせないばかりか、超高齢化社会になると言っているのに高齢者は階段すら昇りきれない。

Q4・あなたは、横浜市が神奈川県からの独立を目指す「新たな大都市制度」(特別自治市)の創設に賛成ですか、反対ですか？	賛成	反対	どちらともいえない
	横浜市は370万人の人口を擁する日本最大の「市」であるにもかかわらず、「市町村」の枠組みにより、大都市にふさわしい施策を打ち出すだけの権限と税財源を持っていない。超高齢化による高齢者の急増など、大都市ならではの課題も多く抱えている。横浜市の力を最大限に発揮し、県と市の二重行政の弊害を取り除くためにも、特別自治市を実現させていく。待機児童対策のように、横浜から全国に先駆けて都市の課題を解決し、日本を牽引する都市にしていきたい。	市民が主人公の住民自治の強化につながらないから。	まずは二重行政を活かす方法で税収を上げる政策を掲げたいから。無駄にするのではなく、特区制度を活用した新規法人に対し、県は県民税、市は市民税のトリプル減税による企業誘致をはかれるはず。税の徴収が三重になっているのを逆手にとる。減税は効果があることを政府は認めている。これなら、国策にあわせて減税しても税収増が見込める。あわせて助成金の申請書を県と統合したい。別々の様式で同じカテゴリーの助成金を受けるのは利用者にとって負担でしかない。書式の統廃合、これに着手したい。

Q5・あなたが市長に当選した際、最初に取り組む施策を教えてください。	8月9日に発表するマニフェストで公表する予定。	中学校給食の実施、小学校6年生まで小児医療費無料化拡充、国民健康保険料の引き下げ、特養ホーム増設、中小企業支援、地域経済振興。	子どもたちが「想像して楽しめる施策」。今までの選挙で子どもたちが喜んだケースがないから。教育ではタレント産業のスカウトマンを文化祭や体育祭へ招待したり、学習成果(替え歌や読書感想文など)をネットで有料配信し、児童に印税収入を得てもらいたい。観光では横浜港に「海賊船」を浮かべたい。
------------------------------------	-------------------------	---	--

Q6・あなたの市政運営にあたっての心構え、基本姿勢を教えてください。	市長は、人財と多彩な財源を最大限にいかすコンダクターである。そのために、現場主義を貫き、市民・社会の皆様、職員と一丸となって、チーム力を発揮してどんな困難な課題にも果敢にチャレンジし、必ず乗り越える。	大型開発優先、市民に冷たい市政から市民にあたたかい市政へ転換する。	心構えは「あるもの」ではなく、「ないもの」を見つける心を養うこと。基本姿勢は好奇心をもって楽しむこと。見るもの全てが新しい、子ども心。
------------------------------------	--	-----------------------------------	---

Q7・あなたが考える横浜市の最も大きな課題とそれに対する施策を教えてください。	8月9日に発表するマニフェストで公表する予定。	人口370万人の横浜市では、市民と行政の距離が遠すぎるのが課題。横浜に対する愛着を持つためにも、一人ひとりに身近な市政の実現が必要。18区それぞれの地域事情に対応するために住民自治組織、区役所機能を強化していく。	選挙への関心の低さ。私以外の立候補者予定者が説明会すら参加しなかった。さらに2候補予定者は任期満了時70代。これが日本の縮図と言われては立候補せずにはいられない。対応する施策は、廃止してほしい行政サービスを「住民投票」できる窓口の設置や、リバーシブルの賛成・反対Tシャツなど、民意を個人が発信できるアイテム、横浜市民全員で市政を導いてほしい。
---	-------------------------	--	---

Q8・あなたが市長選で有権者に訴える最重点政策を教えてください。	8月9日に発表するマニフェストで公表する予定。	中学校給食の実施、小学校6年生までの医療費無料化、最低賃金1,000円以上、公契約条例の制定、603億円かかる新市庁舎建設案の撤回、住宅リフォーム助成制度の創設、木造住宅密集地の防災対策強化、保育料の値下げ、学童保育・幼稚園児への助成拡充、特別養護老人ホームの増設、国民健康保険料・介護保険料の減免、脱原発、憲法をくらしにいかす。	訴えるのではなく、提案したい。私は選挙公報のみの参加。公費負担も街頭演説も一切なし。「家族で選挙公報に目を向けてもらう」、このことが最重要政策と言えるかもしれない。
----------------------------------	-------------------------	---	--

Q9・あなたが横浜市内で最も好きなスポットを教えてください。	横浜は先進的な都市でありながら豊かな自然が多く残っている。歴史のある関内・関外地区やみなとみらい地区は海を背景に「横浜らしさ」が楽しめる。一方で、郊外部では円海山など緑いっぱいスポットもあり、また鶴見川沿いのサイクリングロードから見る景色もとても絵になる素晴らしいもの。現在住んでいる野毛も昭和の面影がある庶民的なまちで大好き。	働いていた横浜中央卸売市場、旧浅野ドック(現コットンハーバー)の近辺から見る横浜港の景色。	横浜港。歩くだけで楽しい。
--------------------------------	--	---	---------------

Q10・あなたのストレス解消法を教えてください。	多忙な時でも、毎朝のウォーキング、生け花、家の掃除を欠かさないようにしている。身体を動かすことが私のストレス解消法になっている。そして、何よりも人と会ってお話をさせていただくことで、心がすっきりして新しい力をいただくことができる。	切り替えを早くして、ストレスをためこまず、翌朝に持ち越さないようにしている。常にフレッシュな気持ちを持つようにしている。	お風呂。
--------------------------	---	--	------

			
氏名(年齢)	林 文子 (67)	柴田 豊勝 (66)	矢野 未来歩 (30)
現新別	現	新	新
政党名	無所属	無所属	無所属